



ひゅーまんらいっつ

第121号 平成22(2010)年

自尊心って?



自尊心とは、自分に対する肯定的な感情のことをいいます。
 自分は、良い面をもった大切な存在なのだという気持ちのことです。
 自尊心を高めることで、精神的に安定し、何事にも積極的に行動でき、自分を律し、自分を大切にしたい生き方ができるといわれています。

子どもの自尊心を高めるのに、特別な方法があるわけではありません。
 遊びや手伝いや何か良いことをして、認められるといった、何気ない日々の生活体験の積み重ねが大切です。



「今のままで充分ステキ」という言葉かけ、「今のままのあなたで充分いいのよ」と抱きしめるだけで、自尊心は育ちます。

今月の本棚



「子育てハッピーアドバイス」
 明橋大二/著 1万年堂出版

「ありがとう」という言葉を、どんどん使おう。
 子どもを守ろうとするなら、まず、それを支えているお母さんを守らなければなりません。
 「がんばれ」より、「がんばってるね」と認めるほうがいい。

忙しくても、すぐに読めて、心が軽くなる！
 子育てに、自信と安心を贈る1冊です。



「子どもは毎日が旬～好感、共感、親近感が人権力を育む」
 明石一郎/著 解放出版社

人権教育に長年携わってきた著者が、丁寧に子どもに向き合う教育についてユーモアを交えやさしく語る。子どもの見方、接し方、叱り方、心のつかみ方、家庭や地域の教育力など教育関係者や親に役立つ話題が豊富。



11月は 児童虐待防止推進月間

～見すごすな 幼い子どもの SOS～



「虐待を受けたと思われる子ども」を見つけたときには、ためらわずに子どもを虐待から救うための行動を起こしてください。

「あなた」からの連絡が、子どもを虐待から守るための大きな一歩となります。

【虐待を受けたと思われる子どもを見つけたときの連絡は...】
児童相談所全国共通ダイヤル

0570-064-000

よなごの人権フォーラム'10

「竹田の子守唄 ～ふるさとからのうたごえ～」

人権情報センターでは、今年も「よなごの人権フォーラム」を開催します。

今年は、京都から部落解放同盟改進黨支部女性部のみなさんと京都教育大学教授の外川正明さんをお招きします。

差別の中を生き抜き、差別のない社会をめざして子どもを育ててこられた先人たちの願いや思いが込められた文化として、「竹田の子守唄」を受け継ぎ伝えていこうという取り組みを続けておられます。女性部のみなさんの歌声に耳を傾けてください。

日時：12月4日(土) 13:30～15:30

場所：米子コンベンションセンター 小ホール

コンサート：部落解放同盟改進黨支部女性部のみなさん

解説：外川正明さん(京都教育大学教育実践総合センター教授)

詳細は次号で
紹介します。

伝言板

人権啓発パネルの貸出しについて

人権情報センターでは、米子市が作成したパネルのほか、鳥取県人権文化センター作成の人権啓発パネルの貸出しも行っています。公民館行事や学校での人権教育参観日などでご活用いただいております。お気軽に人権情報センターまでお問合せください。ご利用をよろしくお願いたします。

